

千葉県統計協会会長表彰

石井善子さん (1区)

平成20年12月17日(水)、青葉の森公園芸術文化ホールで千葉県統計功労者表彰式が開催されました。この表彰は統計調査や統計事務に従事、活躍された方々に贈られるものです。一宮町から1名の方が受賞されました。

石井さんは24年間にわたり合計13回の統計調査に指導員・調査員として従事されました。

長年の丁寧で正確な統計調査により、千葉県統計協会会長表彰を受賞されました。



天狗と僧侶

202段の石段を上る

軍荼利山東浪見寺の例祭が1月28日に行われました。

当日は、午後になると天狗の講払いに続き、関係するお寺の僧侶4人が202段の石段を上ってきて、お堂に入り読経を始めます。集まった参拝者たちもお堂の正面で手を合わせ、感謝と願いを込めてお祈りしていました。

また、お堂の下では、地元の方々で作った甘酒が振舞われた他、子どもたちには天狗が魔除けの飴やお菓子をあげていました。

ほんとうの火事は

もつと怖い

消防署の指導のもと

避難訓練行われる

1月16日(金)、一宮小学校で火災を想定した避難訓練が行われ、児童529人が参加しました。一宮小学校では、①地震、②火災、③不審者侵入、④保護者への引渡しを想定した避難訓練を年4回実施しています。

「南校舎一階の給湯室から出火」という緊急放送が入ると、児童たちは一斉に防災頭巾を着け、ハンカチを口に当て姿勢を低くし、発煙筒の煙や風の向きを考えながら、真剣な面持ちで避難しました。

今回、児童が緊張感をもって取り組めるよう消防車と救急車も会場配置し、消防士にも監察していただきながら、119番通報訓練、消火器を使つての職員と児童の消火訓練など、本格的な訓練を実施することができました。

訓練に参加した児童の口からは、「実際に煙が見えたので緊張した。」「消防士が見てくれていたので一生懸命やれた。」「消火器の使い方がわかってよかった。」などの声が聞かれ、終りに「児童の皆さんは、素早く真剣に避難していた。火災はいつたん発生すると何もかも失ってしまうとても怖い災難なので、何よりも発生させないことが大事。家庭でもたき火など、十分

注意してほしいです。」という講評をいただいた訓練が終了しました。



固定資産評価審査委員会に

森田貞夫さん (13区)

12月9日開催の第4回一宮町議定例会で固定資産評価審査委員会に森田貞夫さんが提案され、議会の同意を得て選任されました。



新春を迎え決意を新たに 平成21年 消防出初式

1月10日(土)

に長生郡市広域市町村圏組合の消防出初式が茂原市民会館で開催されました。式典では、長生郡市消防団長の廣田元一さんの訓示や、永きに渡り消防活動



で活躍された消防団員の皆さんに表彰状や記念品の贈呈が行われました。

第4支団(一宮町)の受章者は次の方々です。なお、第1分団は東浪見地区、第2分団は一宮、宮原地区、第3分団は一宮、新地、船頭給地区です。

千葉県知事表彰精勤章

第2分団分団長 渡辺憲夫

千葉県消防協会長表彰精勤章

第1分団第2部団員 川崎久栄

防災対策監表彰防災対策監章

第2分団第2部部長 齊藤貴

第1分団第1部団員 小関一宜

第1分団第2部団員 川崎人志

第3分団第2部団員 森田範哲

管理者表彰功労章

第1分団第1部団員 田中方之

第2分団第1部団員 土屋篤

千葉県消防協会長生支部長表彰功労章

第1分団第1部団員 小関裕司

第1分団第4部団員 秋場重雄

第2分団第1部団員 小関潤一郎

第2分団第3部団員 宇野澤勝

第3分団第3部班長 河野晃弘

第3分団第3部団員 中村賢一

千葉県消防協会長生支部長表彰精勤章

第1分団第1部団員 峰島雄一郎

第1分団第2部部長 関和宏

第1分団第3部団員 小関伸和

第1分団第4部部長 鶴澤秀充

第2分団第1部団員 森浩彰

第2分団第2部団員 加藤卓也

第2分団第3部団員 齋藤佳久

第2分団第4部部長 高橋克佳

第3分団第1部班長 鶴岡康則

第3分団第2部団員 伊原正樹

第3分団第3部団員 若菜賢一

消防団長表彰精勤章

第1分団第1部団員 小畑憲二

第2分団第1部団員 田中直俊

第3分団第1部団員 森田聡

優良部 第3分団第1部

長生郡市消防本部からお願い

平成21年春季全国火災予防運動が3月1日(日)から3月7日(土)まで全国一斉に実施されます。皆様のご家庭でも火の取り扱いに十分注意してください。

『火のしまっ君がしなくて誰がする』

町長室からのお知らせ No.3



一宮町長 玉川 孫一郎

ホームページが変わりました

すでにお気づきの方も多いかと思いますが、今年の1月1日から一宮町のホームページが変わりました。

ホームページをリニューアルした目的は3点あります。

まず、第一に住民生活のための利便性の向上です。より見やすく、知りたい情報がすぐに見つかるサイトを目指しています。

次に情報公開の推進です。住民協働のまちづくりを実現する前提として行政と住民が情報を共有する必要がありますが、ホームページはその上で大いに役に立ちます。

最後に町外への情報

発信の強化です。観光や移住などで一宮をたずねようとする方に情報を提供するだけでなく、今後は町の魅力と町産品の紹介を通じてその認知を広め、ブランド化を図っていきたくと考えています。

ご覧になられた方はお分かりでしょうが、あちこち未完成でこれからコンテンツを追加していく発展途上の段階です。皆さまのご意見をうかがってさらに充実した内容にしたいと考えておりますので、お気づきの点がございましたら、ぜひご意見をお寄せください。

